

首都圏初！ 燃料電池フォークリフトを導入しました！

川崎市、神奈川県、横浜市では、民間企業と連携し、CO₂フリー水素サプライチェーンの構築を図る実証事業（環境省委託事業「平成28年度 地域連携・低炭素水素技術実証事業」）を進めています。

このたび、実証事業の一環として、株式会社ナカムラロジスティクス及び横浜市中心卸売市場本場青果部に、水素を燃料とする燃料電池フォークリフトを首都圏で初めて導入しましたので、お知らせします。

1 導入日

平成28年11月30日（水）

2 導入場所

- ・株式会社ナカムラロジスティクス（川崎市川崎区東扇島6-10 かわさきファズ物流センター内）
- ・横浜市中心卸売市場本場青果部（横浜市神奈川区山内町1）

3 導入台数

各1台



燃料電池フォークリフト



燃料(水素)充填作業

仕様	
定格荷重	2,500kg
水素充填時間	3分
水素搭載量	13.4N m ³
稼働時間	約8時間※

※株式会社豊田自動織機

平成28年7月26日付リリースより

【燃料電池フォークリフトの特徴】

- ・環境性:稼働中のCO₂排出量ゼロ。排出されるのは水のみ
- ・作業効率向上:約3分の水素充填で、連続稼働可能
- ・省スペース:予備バッテリーの購入、保管が不要(従来の電動フォークリフトの連続稼働には予備バッテリーが必要)

- 燃料電池フォークリフトの導入場所は、物流現場で安全の確保が難しいため、現地取材についてはご遠慮くださいますようお願いいたします。
- 実証事業の詳細は別添「平成28年3月14日付記者発表資料」のとおりです。

川崎市臨海部国際戦略本部臨海部事業推進部 高橋
電話 044-200-2095

※ 本件は、神奈川県、横浜市においても、同時記者発表しています。